

通信制課程へのサテライト校設置について

高校教育課

令和2年4月、高等学校通信教育規程（昭和37年文部省令第32号）第11条に基づき、長野西高等学校通信制課程にサテライト校を設置する。

1 名称

長野西高等学校 望月サテライト校

2 設置時期

令和2年4月1日

3 設置理由

「第1期長野県高等学校再編計画」の再編基準に該当した望月高等学校については、第1031回教育委員会定例会において、通信制サテライト校設置の方向で検討するとされた。その後、平成30年9月県議会定例会において、望月高等学校の廃止が同意された。

「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」に示されている通信制改革を進めるため、望月高等学校の施設を活用し東信地区に新たな学びの場としてサテライト校を設置する。

4 特長

これまでの公立通信制の成果を生かしつつ、以下の新たな学びの仕組みを構築する。

(1) 多様な通学形態

自分の生活・学習スタイルに合わせて、平日の週1日から週5日まで自由に登校できる。

(2) 個別最適化された学び

同一教材を同一ペースで学ぶのではなく、EdTechを活用した自分に合った最適な学びにより、学び直しや大学進学等、自分の目標とする学力を身につけることができる。

(3) 自分の「好き」をきわめる学び

仲間と協働して社会の課題解決を目指す「プロジェクト型の学び」や自分のアイデアを形にする「アウトプット型の学び」等、自分の興味・関心に応じた学びにより、主体性、社会性、探究力、創造性等を身につけることができる。

(4) キャリア教育の充実

最大週5日登校の強みを生かし、地元企業での就業体験、地域の幼稚園や福祉施設への訪問交流等、多様なプログラムを用意することにより、社会的・職業的自立に必要な力を培うことができる。

(5) 地域と協働した学び

地域との協力体制構築を進め、望月地区の自然、文化、施設、人材等を最大限活用し、キャリア教育や特別活動等、地域と協働した学びができる。

(参考)

○ 通信制の改革について（「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」より）

通信制課程は、個々のペースで学ぶことができる利点を活かした教育により、多様な背景を持つ生徒たちの新たな学びの場として必要性が増してきている。

個に応じた通学の形態をとったり、ICT（情報通信技術）等を活用しながら主体的に学びに取り組んだり、地域の様々な活動に参加して体験的に学びを深めたり、スポーツや芸術などに打ち込むなど、生徒一人ひとりが自己の可能性を伸ばす環境を整えることが可能である。また、四年制大学等の上級学校への進学にも対応できる。

今後、こうした個々の生徒のニーズに応じた通信制教育のあり方や仕組みについて研究を進めるとともに、現在、第1通学区（北信地区）と第4通学区（中信地区）に各1校配置されている通信制高校について、地理的に離れたところに住む生徒のためにサテライト校を導入するなど、通信制教育の充実・拡大を図る。

令和2年（2020年）4月、これまでにない通信制高校が“望月”に誕生

長野県長野西高等学校通信制

望月サテライト校

To The Next Stage

～なりたい自分にきつとなる～

週1日でも、週5日でも、自分の生活・学習スタイルに合わせて登校可能な通信制

目標とする学力を身につける

★多様な選択科目、EdTech活用（※）

- ◆中学校までの学び直しの科目、大学入試に必要な科目等幅広く選択できます
- ◆EdTechの活用で、自分のニーズに応じた学びに、“いつでも”“どこでも”取り組めます

（※）オンラインデジタル教材等の活用

自分の「好き」をきわめる

★プロジェクト型の学び

- ◆仲間と協働して地域課題の解決に挑戦します

★アウトプット型の学び

- ◆自分のアイデアをカタチにする学びに取り組めます

★キャリア教育の充実

- ◆地域の特色を活かした就業体験、施設訪問交流等ができます

★自分で時間をカスタマイズ

- ◆自由な時間を活かし、好きなことにチャレンジできます

〔スポーツ、芸能、海外旅行、囲碁、将棋、eスポーツ、ボランティア等〕

望月では…

地域の支援もあり、書道、乗馬、ゴルフ、福祉を学ぶ環境が充実（県内外から生徒受け入れ）

望月だからできる学び

心いやす“望月”の豊かな自然

★一人ひとりに寄り添う、きめ細やかな指導や支援

- ◆いつでも登校し、レポート作成等の学習や、勉強以外の悩み事相談をすることができます

“望月”のすべてが学びのフィールド

長野西高校(本校)



望月サテライト校

望月サテライト校は、長野西高校（通信制）を本校とする学びの場です。

望月サテライト校の学びのしくみ

▶卒業するには（卒業の3つの条件）

必修科目を含め74単位以上修得



高校に3年以上在籍



特別活動に30時間以上出席

▶単位を修得するには

レポート（添削指導）



授業（面接指導）



試験

※自学自習を基本にレポートを作成し、提出します。決められた時間数以上授業に出席し、試験に合格すると単位を修得することができます。

学費等

- 総額4～5万円程度/年間（平均的な生徒の場合）

（入学科、受講料、教科書代、オンラインデジタル教材費 ほか）

- 学びを支援するさまざまな制度を活用できます

就学支援金、学び直し支援金、高校生等奨学金給付金、定通修学奨励金、定通教科書補助 等